

特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報（事後公表）

【担当課：政策企画室広報担当】

議 題	大阪市の広報について（改善に向けた意見聴取）
日 時	令和8年1月19日（月曜） 10時30分～11時30分
場 所	大阪市役所本庁舎5階特別会議室
出 席 者	（特別顧問・特別参与）： 清水特別参与、寺本特別参与 （職員等）： 副首都推進局（副首都企画担当課長代理 外） 政策企画室（市民情報部長、広報担当課長 外）
論 点	「副首都・大阪」の理解促進に向けた広報について
主 な 意 見	（パブリックリレーションズおよびSIPSモデルの現状認識等に関して） ・パブリックリレーションズ（PR）のフェーズは、「副首都」という単語を聞いたことがないという方が、徐々に改善しているという認識で妥当と考える。 ・制度導入によって、どう変わるのかを説明していくことが基本であり、府民・市民や企業等のステークホルダーを定め、それぞれのメリット・デメリットをイメージし、段階的に広報するとよいのではないか。 ・SIPSモデル、現在はSTEP1（共感・知る）の段階と考えられ、今後の広報展開としては、現状が過去に比べてどう変わったかに加え、生活の範囲における延長線上の未来を示せばよいのではないか。 ・若年層には、各論として打ち出す内容・具体策をショート動画（縦型）にしたうえで、より丁寧に説明するための長尺動画も用意し、併用するとよい。 ・ウェブ広告のKPI設定について、STEP1における完全視聴率は最もわかりやすい指標だと思う。特設WEBサイトへの遷移についてもクリック率で見れているので問題ない。
結 論	本日の助言を踏まえ、改善に向け検討を進める。
説 明 等 資 料	
備 考	
関 係 所 属 （ 部 課 ）	政策企画室市民情報部広報担当